

令和5年度県立病院事業評価委員会（第1回）からの評価・提言内容

令和5年9月4日
県立病院事業評価委員会

委員から出された評価・提言の概要は、次のとおりです。

【評 価】

令和4年度病院事業に関しては、新型コロナウイルス感染症患者に対する対応と、通常医療の提供について、両立が図られていた。

各病院においては、経営の健全性を維持しながら、全県レベルあるいは地域の中核病院として更なる努力をお願いしたい。

また、経営計画の改定に当たっては、国のガイドラインを踏まえ、経営強化に向けた取組を更に推進するため、病院ごとの課題を整理し、数値目標や具体的取組について検討を行い、実現性の高い改定をお願いしたい。

【提 言】

1 令和4年度県立病院事業の実施状況について

- 宮崎病院のダ・ヴィンチ手術について、症例数や手術件数等、実績を示していただきたい。
- 収益的収支の状況について、収支に減価償却費を含めると厳しい数字となってしまうため、見せ方を工夫し、病院の努力が見えるような数字を示していただきたい。
- 令和4年度決算では、新型コロナの病床確保料が多く計上されているが、5類移行後の病床確保料の減少分を医業収益でカバーする必要がある。
さらに、宮崎病院の減価償却費、物価高騰に伴う光熱費等の増加により、今後厳しい状況となることが予想されるため、収益の増加、費用削減に努めていただきたい。
- 看護師について、病院ごとの離職率、定年前の離職率、新人の離職率等のデータを分析し、現在勤務している看護師が辞めないような取組をお願いしたい。
- 専攻医研修資金貸与事業について、返還免除となった医師が県立病院をはじめとする県内の医療機関で継続して勤務してもらうため、先を見据えた取組を実施していただきたい。
- 延岡病院に整備予定の心臓脳血管センターについて、手術室の整備と併せて医師や医療スタッフ等、必要な人材の確保に取り組んでいただきたい。

2 「宮崎県病院事業経営計画2021」に基づく各県立病院の取組状況について

- 医師の働き方改革に係る取組について、県立3病院がそれぞれ別の方法や基準で勤務管理をするのではなく、県として統一した勤務管理を行っていただきたい。
- 日南病院の（稼働）病床利用率について、低い状況となっている。
日南・串間医療圏の公立病院も同様の状況にあるため、県立日南病院、日南市立中部病院、串間市民病院が連携して、今後のあり方について検討を進めていただきたい。

3 「宮崎県病院事業経営計画2021」改定骨子（案）について

- 臨床指標について、専門研修プログラムの専攻医の受入人数及び「宮崎県キャリア形成プログラム」適用者の受入人数を新たに加えていただきたい。